

昭和三年

自一月一日  
至三月八日

福光疎開園日誌

第五輯

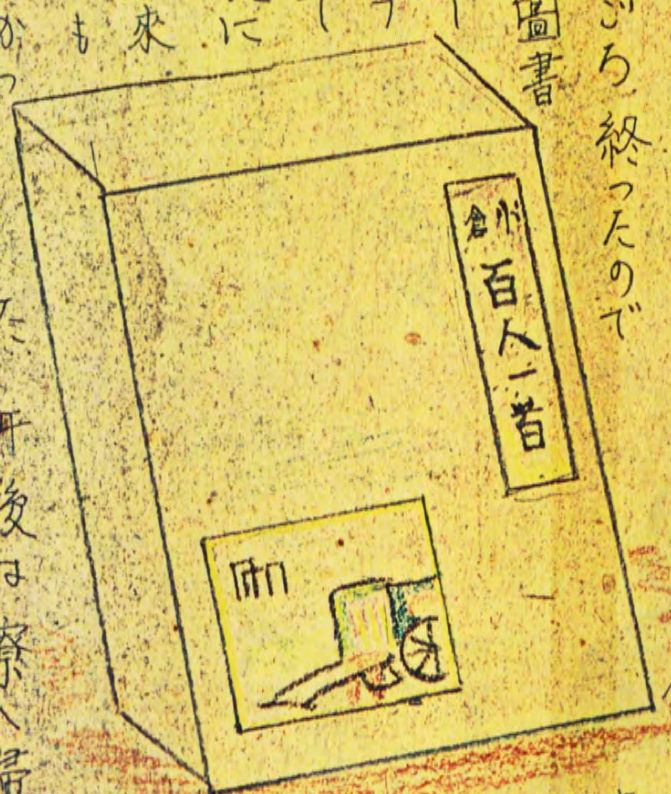
東京女子高等師範學校  
附屬國民學校

昭和五年



一月一日 (火曜日) 曇 古藤

今日から紀元二千六百六年だ。僕は十三になつたのでなんだかとてもうれしかった。朝食はお餅が八つあつた。とてもおいしくて、さうにでお餅が八つあつた。とてもおいしい。東京にゐる家の人には食べられないと思ひました。九時半からお式があつた。お式は十時ごろ終つたので



午前中 館にいた。たすに、あたふると、福袋、たす、うれ

は圖書  
まー  
ーブ  
つて  
僕に  
が来  
ても  
ーか  
た  
あふののこりを食べた日記を書いたから  
こたつへあつた。とても暖かかった。夕食は、  
おいし御馳走がたたくさんあつた。豆やた  
けのこやいろいろあつて、おせんに一つはいいな  
つた。これも先生方がほねをつて下さつたの  
だと思ふ。おつさうおつしかつた。寮へ歸つ  
てから西尾さんと小倉百人一首と書いた  
とても愉快でした。寝る時、今日天皇陛下が  
おくだしたなみたみ、そのり、つた、そのり、つた、そのり、つた



てくたさいました



一月六日 日曜日 晴曇 河野  
今日は午前中、福光校の講堂で羽つき大會をし  
た。九時半頃から、少し、かけ足や軽い體操をし  
した後、二三年、四五年、六年の三組に分れてや  
った。始めは、れん習をした。まゝ中に、綱を張った。



て、羽はその上を飛び越すやうにする。一、二回  
 水ん習をしてから、各組ごとにし合  
 した。僕達は、始めに  
 いを引いて、一番から  
 十五番までをき  
 た。僕は二十番よだった。始め、二十  
 四五番の三人の中から、一人優勝者をきめ、  
 次に、一番と二番、三番と四番と、いふやうにや  
 って行った。僕は堀田とやった。僕達の途中まで  
 来た時、けい防團の人が、ニコを使ふといふの  
 で、中止した。續きは、こんどの日曜にやる事にし  
 た。その後、図書館のストーブにあたった。午後  
 は寮へ歸つてこたつにあたった。おやつに、みかん  
 をニコづつた。本を讀んだ。夕食後、火星  
 兵團の本を讀んでいた。喜門先生のお  
 とう様が御病氣で、先生は、今日の終列  
 車でお歸りになった。僕達は、先生のおとう様  
 が無事であるやうに心の中でおいのりした。



一月七日

(月曜日) 雨 古藤

今日は第二日目の授業があつたけれども先  
 生がいつしやらないので、ストーブにあたりな  
 がら、自習をしました。三四時間目は僕と荒木  
 君と岩倉君とで校庭でスキーをしました。  
 最初なので、うまくすべれづ、ころんでばかり  
 でした。とても愉快でした。  
 午後は寮へ歸りました。二時ごろから

宮本さんの家へ遊びに行きました。お餅や  
 てコリンターゲームや  
 首をしました。お餅や  
 りを御走馳して  
 した。とてもおもしろ  
 夕食はおはぎを  
 物をいただけるのは  
 のおかげだと思ひま  
 家の方々に食べさせ  
 いほどでした。

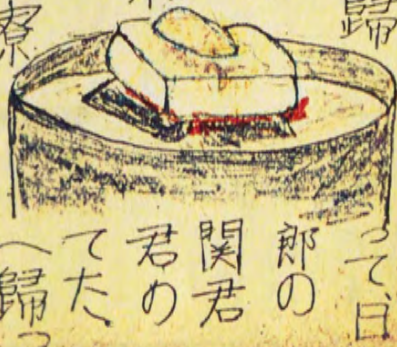


百人一  
 おにぎ  
 だま  
 でした  
 こんな  
 先生方  
 した  
 あげた



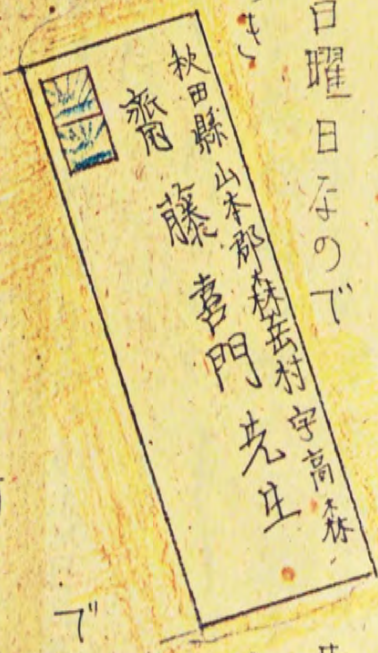
一月十二日 (土曜日) 雪 河野

今日は休養日だ。午前中、寮へ歸り、  
記を書いたり、大坪君に田宮坊太  
本を讀んでもらったりした。午後、  
のうちから送って来たみかんや、荒木  
ぬなかから送って来たお餅を焼い  
べた。とてもおいしかった。夕食後、寮  
てから、西尾さんのお風呂にはいった。とてもいい  
氣持だった。



一月十三日 日曜日 晴 古藤

今日は日曜日なので、午前中  
羽根つき、大會が  
あり、まし  
た。と、  
愉快、  
十一時、  
を聞かされて、ただくよ定でいたが、電休日  
でしたので中止になりました。



ころから、石崎さんにレコード  
を聞かされて、ただくよ定でいたが、電休日  
でしたので中止になりました。



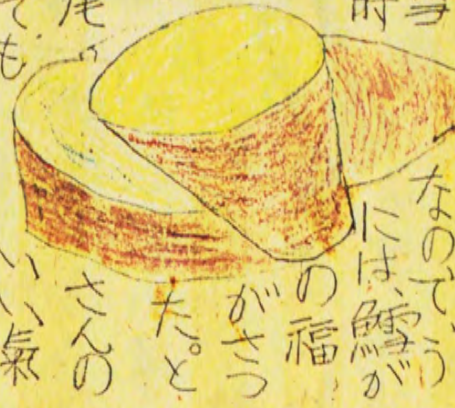
午後は寮へ歸つて、喜門先生のお父様がおなくなりになつたので、そのお手紙を書きました。波多製作所へヌキを取りに行きました。がまだ出来ていません。とつてもつまりませんでしたので、少し外で、そりを引いて遊びました。夕食前に急いで日記を書きました。學校にはまだ追羽音大會の一等高島さん、二等荒木君、三等は平松さん。と書いた黒板がまだたててあります。夜本を讀みました。



一月十八日 (土曜日) 雪曇 河野  
今日は、九時半頃から、スキーについていろいろ  
な事をした。始め、講堂で石田先生から、スキー  
の乗り方、名前等のお話を聞き、次に、スキ  
ーにらまをぬった。へらうをスキーのうらにぬっ  
ておいて、その上をアイロンや火ばし等でこすつ



た。図書館の石崎さんも来て手傳つて下さった。  
 その後、スキーに乗って校庭へ出た。山まで  
 行った。上にのぼった。新しい雪  
 まくすべれなかった。書食の時  
 出た。寮へ歸つてから、秋葉  
 袋をわけてもらった。曾本さん  
 ま芽を四本づつかがして下さっ  
 てもおいしかった。夕食後、西尾  
 お風呂に入れていた。とても  
 持たった。その後本を読んだ。点呼は各自して  
 ねた。



一月十九日 (土曜日) 曇り

今日は、第四日目の授業がありましたが  
 皆自習なので火鉢にあたりながら  
 話して花を

咲せま  
 した。

午後

寮へ歸

つて日記を書いた。夕食の前に波多  
 製作所からスキーを運んだ。





一月二十四日 (木曜日) 雨曇後晴 河野

今日は休養日だ。午前中、寮へ歸ってから部屋や自分達の荷物のせいとんをした。その後は、日記や葉書を書いたり、本を讀んだりした。午後、西尾さんにいたたたいた白い餅や、草餅をいたたたいた。夕食後、お風呂にはいった。とてもいい氣持だった。その後、スキーの手入れをした。



とてもおいしかった。その後本を讀んだ。

一月二十五日 (金曜日) 小雨 古藤

今日は少し雨が降ってしまいました。立野ヶ原へ行く事になりました。スキーをかつぎおべんたりのを、持って出ました。途中から雪が積



ついていたのでスキーをはいて進みました。自然と汗が出て来てしやうがあまりませんでした。とても美しい景色でした。向ふへつくと今年、始めて見る立野ヶ原もなんだか變つてゐるやうでした。宿舎へはいつてから、荷物をおろしてからスキーを一行きました。三十度ぐらいのスキーでとてもすべりよかったです。ころんでも、とてもおもしろく、何度もすべりました。前よりもとてもうまくなつたやうに思はれました。十二時半ごろ晝食になりました。こないだ送つて来たさけかんを、あけてたべました。こちらで作ったお味噌汁は暑くてとてもおいしかったです。三時ごろから又すべりました。こんどはまがるけいこをしてみました。なかなかむづかしいです。けれどもすぐおぼえてしまひました。三時ごろ歸る事になつて雨の中を行了きました。歸りも汗が出てなんだか氣物が悪いので、學校へいつてから、火鉢で靴下やたびをかかしました。夕食後は少し火鉢にあたつてから七時ごろ寝ました。





一月三十日 (水曜日) 曇晴 河野

今日は、四日目の授業だった。僕達は三時間目までずっと自習だった。四時間目、五六年の男子は、吉江村の荒井といふうち(味噌取り)に行った。二人に一つづつおけを持って行った。



途中、鱈やサメ等、が賣ってぬたり、ろ店にみかんが山の(やう)につんであったり、お菓子やりんごや干柿、みかん等、たくせん賣ってぬるのでうらやましくなった。荒井さんについて中(は)は行って行く(と)味噌を作る所がある、大豆がたくせん水につけてあったり、機械で豆をひいてぬたり、ふつうの味噌と、芋とまぜてぬたりしてぬた。十七かんもあるのとても重かった。西尾寮の倉庫へついてから、一なめづつその味噌をなわさせていた。昼食に行くともうた(と)始めてぬた。いかと大根と里芋のにつけた。午後は寮へ歸ってこたつにあたった。夕食は鱈のはいったお



つゆだった。夕食後、前の農林大臣の松村さんのお話が講堂であつたので先生のお歸りがおくれたのでさきにねた。

一月三十一日 (木曜日) 晴 古藤

今日は第五月目の授業がありました。

一時間目は算數で珠算の練習を

しました。掛算も割算もしました。

二時三時は自習で火鉢に

あたりました。四時は

國史づした。書食後

先生方の二月の行事

の會儀があつたので

先に歸りました。と

して西尾さんに自轉車

をおかりして乗りま

さけれども僕は乗れな

いのでつまらません。日が照

つてゐたので屋根の上で日光浴をし

ました。本を讀んだりしてみるとと

ても暑くなりました。夕食後はこ

たつへあたりました。とても暖たか

いでした。今日も八時に聴ゆらし

んにしました。をばさんが二階の床



の間のかげじゆくをおかへになりました。



二月六日 (水曜日) 曇 古藤

今日は第三日目の授業です。朝食の時に、主事先生がお歸りになつたので、東京のお話がありました。

三月十日ごろ

第一研究

感想帳

古藤凱彦

なりま  
した二  
時間目  
は茂木  
先生は  
するぎ  
トをお  
りに行  
で自習  
三時間  
樂で二  
で冬景  
習ひま  
た、そ  
の悪い  
り取っ  
僕は、  
した夜

二月五日 (火曜日) 曇 河野

今日は、第二日目の授業をした。一時間目に、掃除の事で注意があつた。二時間の第一研究は、元の國の事についてならつた。算數は三時間なのだが、四時間目にまはした。し、女子のさいほうがあつたので、僕達は自習をした。晝食後、圖書館の掃除をしてから寮へ歸つてこたつにあつた。三時頃、宮本さんが、いかや山芋等のはいたませ、ばんをたくさん御馳走して下さつた。とてもおいしかつた。夕食後、寮へ歸つてから加藤先生に命のかぎりといふ本を讀んでいただいたり、どろばうのお話をしていたたりした。





二月十一日 (月曜日) 晴 河野

今日は、終戦後、始めての紀元節だ。僕達は、全部、せい服を着て、学校へ行った。午前中、九時半頃から、福光校といっしょにお式をした。

宮城えう拜、君が代、勅語奉讀、校長先生と町長さんのお話、紀元節の歌を歌って、お式は終わった。福光校の歌

方が早いので困った。その後、帰って、こたつにあたり

ら、本を讀んだ。今日は、がないのだが、先生方の講座があつて使ったので、圖

の二階の掃除をした。その後、って日記や葉書を書いたり、本を讀んだり

した。夕食には、紀元節のお祝ひで、甘いあんこのおはぎが二こ、白ごまのおはぎが

四こ、大根、里芋、人参のにつけ、鱈のにつ

けに、りんごが二こついた。とてもおいしかったが、たくさんないので残念だった。夜は、

先生が歸つて、いらっしやらない前にねた。



寮へ  
なまか  
授業  
敬着  
書館  
寮(歸)

二月十二日 (火曜日) 晴 古藤

今日は、第一日目の授業がありました。一時間目の圖書は、この間のつづきを

しました。とてもむづかしいでした。二時三時は、自習でした。四時間

目に、算數をもしました。午後は、寮へ歸つて、日記を書いたり、葉

書を書いたりしました。宮本さん

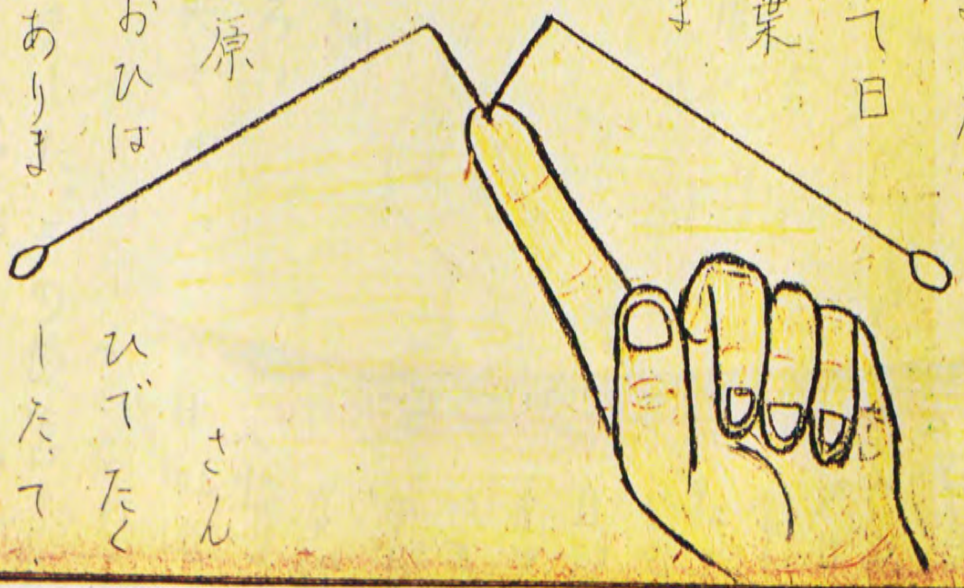
がいらつしやつて、いろいろお話し

をしてくださりました。夕食は、マ榮原

のけつこん式のおひは、さんの御走馳があります

んぶらや、大根の煮付もありました。とてもおいしかったです。んぶら等は

学校で始めてでした。夕食後、やじろべいを作つて遊んだ。



ひでた  
さん



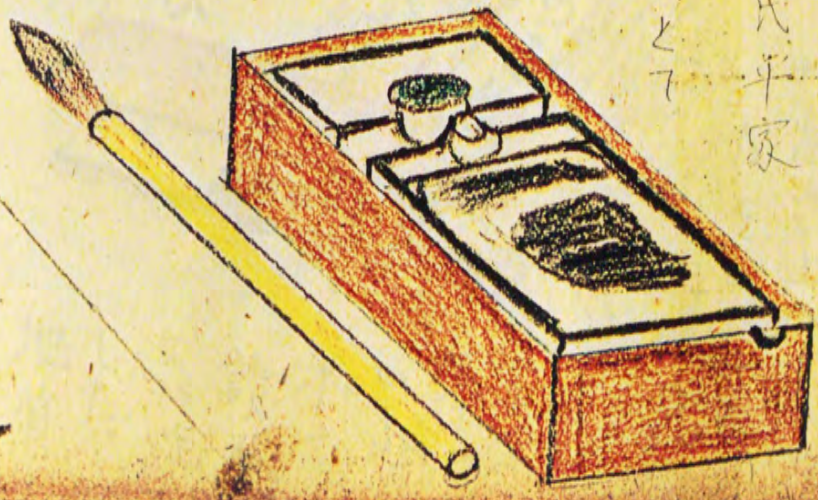
二月十七日 (日曜日) 曇 河野

今日は娛樂會だ。朝起きるのがおくれたので洗面だけし、掃除は午後やる事にして、學校一行だ。九時十分頃から裁縫室で始めた。僕達は三番だが前の組のじゅんじゅんが出来ないので先にやった。西尾寮は、なぞなぞを本を見ながらうした。じゅんじゅんがだいぶかあった。吉波寮の砂とうは甘いや、五女の鬼の面等、とても面白かった。特別に、女の先生方の父歸るといふけきがあった。とてもお上手で本物のやうだった。その後の討論會は、海と山といふ題で各自ごとに分れた。海の方が、うりのやうだった。娛樂會が終るとすぐ晝食になった。午後、寮へ歸ると僕に週刊少國民が来てゐた。西尾さんが、こんぶをみんなに下させた。半分だけたべて、あとはとっておいた。こたつにあたりながら日記を書いたり本を讀んだりした。宮本さんが、きのこのやうな大根のおでんを作つて下さった。暑くて、とてもおいしかった。夕食後、お風呂にはいった。その後、宮地先生に里部の川の變本橋のお話をしていた。



二月十八日 (月曜日) 雪 吉森

今日は第三日目の授業の日です。一時間は國語で自習をいたしました。又雪が降りだしてとても寒かったです。二時間目の習字は、源氏平家物語を練習しました。とてもむづかしいのでした。三時間目も自習なので、四時間目は女子のおさひぼうがありました。僕達は火鉢にあたりながら本を讀みました。午後は自由でした。日記を書いたり、こたつへあたつて針金細くをしました。夕食後、加藤先生がお歸りになりました。

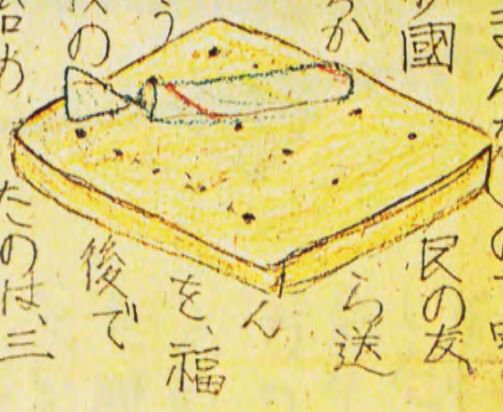


源氏平家



二月二十三日 土曜 晴曇 河野

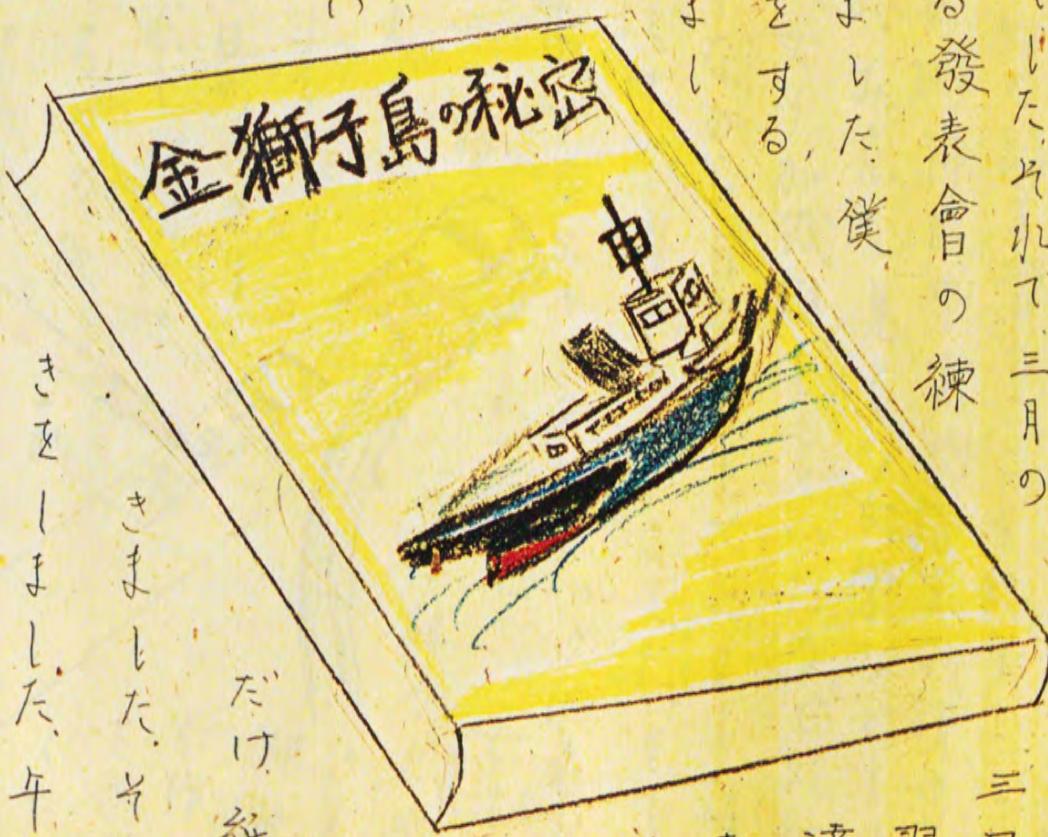
今日は六日目の授業をした。西尾寮は、自習  
だったので学校の山へスキーに行った。本部へ  
行って、スキー用わらわつをいただいた。かる  
くて、とてもよかった。しかし、僕のスキーのう  
らには、雪がべとべとくっついて、うまくすべら  
ない。ころんではかりなた。つまらないので寮  
へ歸って来た。すると、僕に、少國  
の二月号が来た。堀田のうちか  
って来たあめするめ、かんば  
等をたべた。午後はいゆとう  
光校の講堂でした。福光校の  
やったので、いぶん待った。始め たのは、三  
時すぎだった。みんを左手にやった。なんだか  
くすびったいやうな気がした。それがかは、  
てから、寮へ歸った。堀田のいり豆をたべた。  
とてもおいしかった。夕食には、鯖の味噌汁が  
あった。夕食後、寮へ歸ってから、喜門先生に、  
金じし島のひみつといふ本を讀んでいただ  
いた。とても面白かった。ねる時になっても、し  
ゆとうをしたやうな感じがしなかつた。



二月二十四日 曇 古藤

今日は日曜日なので福光校はお休  
みでした。それで、三月の  
する発表會の練  
しました。僕  
劇をする  
しまし

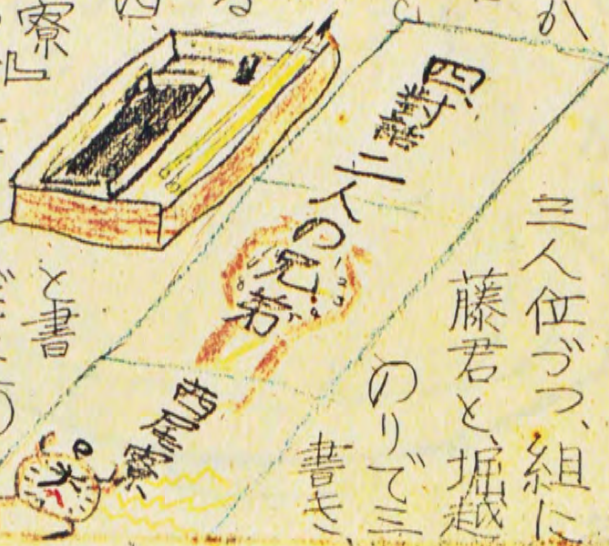
寮の自のつ寮  
のい  
書所  
暗書  
も寮へ歸って日記を書きました。  
三時ごろ、宮本さんが、かす汁を作つて  
くださいました。とても、身が暖たたまつ  
て、おもしろいでした。夕食は、昨日と同じで  
おいしいさばがありました。夜、先生に、金  
獅子島の秘密といふ本を讀んでいただき  
ました。





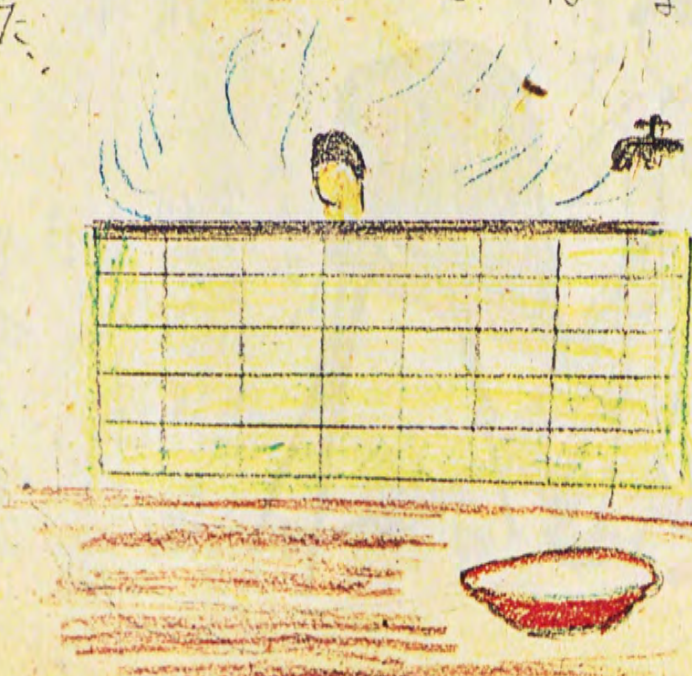
三月一日 (金曜日) 雨曇 河野

今日から授業がない。西尾寮は午前中、寮へ  
帰って、こたつにあたりながら、日記を書いたり、本  
を讀んだりした。先生方は、三日の感しやの會の  
ポスターを町にはるため、それを、お書きになつ  
た。午後は、五六年全體で圖書館の階上で、プ  
ログラムを書いた。二人か  
三人位づつ、組に  
なつて書いた。僕は、古  
藤君と堀越  
さんと組んだ。半紙を  
のりて三  
枚つないで墨で字を  
書き  
るのいで字がうも出る  
やうに書く、僕達は、四  
つと書  
對話、二人の兄弟、西尾寮  
いた。一回、しむばいして、字が大きすぎたの  
で阿久沢先生に字くばりをしていただいた。  
繪は時計の繪にした。その後、急いで歸った。  
宮本さんが暖いませ御飯を作つて下さつた。  
とてもおいしめた。夕食後、寮へ歸つて、けき  
のれん習をした。ねるのは十時まで自由にね  
た。今日から、朝食も、ふつうの御飯になり  
ぶんりやうも少しふえた。



三月二日 (土曜日) 曇

今日は午前中、せいほう室で  
感しや會の練習をしました。僕  
達は、道具を持って來なかつたので  
言ばだづれた。十時ごろ、寮へ歸つて  
ふとんやいろいろな物を持って學  
校へ行きました。  
した午後は  
講堂でよ  
かう演習  
をしました  
福光校も  
見に來ました。  
四時ごろ、終つて三十分すると夕食  
になりました。鳥かの煮たのがあり  
ました。夜、西尾さんのお風呂へはい  
りました。とてもこつぱりしました。





三月七日 (木曜日) 雪 河野

いよいよ東京へ歸る日が来た。うれしくてたまらない。起きるとすぐ洗面器も入れてすぐ學校へ行った。食後講堂で福光校とけつ別式をした。その後、圖書館でストロブにあたった。十時半頃から晝食になった。女學校がくれたぎんなんのお人形も二つづつもらって、寮へ歸った。するともう荷作りがしてあった。食器が入れられないので學校の荷物といっしょに送ってもらふ事になった。西尾さんが大福餅と鉛筆、ダースを一人々に下さった。



から西尾さんとお式をした。西尾さんの近所のうてお別れのあいさつとして一時二十分頃に福光校へ送って来て下さった。降りて来て下さる所があったが汽けちりして十三時五十四分に福光を發車した。僕達の汽車は貨物だったが、そんな事はどうでもよい。みんな手をふって送ってくれた。一時間たつと高岡についた。そこで一時間位待った。とてもたいくつだった。おべんたうを賣ってゐた。宮本さんと絹子さんがそこまで送って来て下さった。やがて汽車が来た。僕達の車はかし切だ。一つのいすに三人づつすはった。窓がずいぶんこわれてぬて寒いので、先生にきれをはっていただいた。しかし風







ました。學校へ着くと、もうお姉様が迎へに  
に来ていてくださった。ました。一部一年の教室  
で朝食を食べ、開散式がありました。外へ出  
るとお母様もいらしてました。一年ぶりの  
で、とてもうれしくて、また喜びました。少  
しお話しをしながら、歸へりました。



THE UNIVERSITY OF CHICAGO  
LIBRARY  
540 EAST 57TH STREET  
CHICAGO, ILL. 60637  
TEL: 773-936-3200  
WWW.CHICAGO.EDU